

ダニエル・カールの

聞きたい! 消防団

第25回

山口県周南市消防団

今回は、東京から新幹線で4時間をかけ、山口県周南市をお訪ねしました。

周南市は、瀬戸内海に面し、日本有数のコンビナートを有しています。2市2町が合併して誕生した周南市は、市街地だけでなく山間部や沿岸部など、様々な地域で消防団が活躍しているそうです。

今回はそんな周南市消防団についてお尋ねし

たいと思います。

それでは、周南市消防団の神本康雅団長、神足孝志副団長、河村隆弘副団長、宮本満雄第1方面隊長、河村英男第2方面隊長、秋山均第3方面隊長、福谷勇二第4方面隊長、徳重龍也第5方面隊長、周南市消防本部消防総務課の緒方資大係長からお話を伺いましょう。



前列左から、河村副団長、神本団長、ダニエル・カール、神足副団長、後列左から宮本方面隊長、秋山方面隊長、福谷方面隊長、河村方面隊長、徳重方面隊長、片山部長（周南市消防本部で撮影）

周南市の概要について

ダニエル まずは周南市の概要を教えてください。

緒方係長 周南市は山口県の東南部に位置しており、北は中国山地の西端部に、南は瀬戸内海に面し、山と海に囲まれた自然豊かな所です。

周南市は平成15年4月に旧徳山市、旧新南陽市、旧熊毛町および旧鹿野町の2市2町の合併により誕生し、今年で16年目を迎えます。

現在の人口は男性が約7万人、女性が約7万5,000人、合計約14万5,000人で、世帯数としては約6万8,000世帯となっています。

山間部では、香り高いワサビの栽培やブドウ、ナシの生産が盛んです。巨峰ワインや地酒を製造しており、季節に応じて味わうことができます。また、海にも面していますので、フグも有名です。

ダニエル いいですね。

緒方係長 また、鹿野地区という所では国産豚の生産に力を入れています。

ダニエル 新名物ですね。

緒方係長 南部は工業地域で海沿いにコンビナートがあります。

ダニエル コンビナートは有名ですね。

緒方係長 はい。石油化学をはじめセメント、鉄鋼など、全国有数のコンビナートが広がっ



コンビナートの工場夜景

ています。コンビナート群の工場夜景は、日本10大工場夜景都市として有名で全国的に高い評価を受けています。

ダニエル それもいいですね。

緒方係長 また、徳山湾には、人間魚雷回天の基地跡などがあります。

交通面は新幹線も通っていますし、中国自動車道、山陽自動車道も通っています。徳山競艇場や徳山動物園もあり、小さい都市ですが、いろいろなことが楽しめる都市となっています。

ダニエル 近くに空港も2つあるのではなかったですか。

緒方係長 近隣には山口宇部空港と岩国錦帯橋空港があります。

ダニエル ちょうどその中間ぐらいですか。

緒方係長 中間ぐらいです。

ダニエル では交通の便もすごくいいですね。

緒方係長 そうですね。

周南市消防団の概要について

ダニエル 消防団のことについてお伺いしたいと思います。もともと2市2町で合併されて、今年で16年目だとおっしゃっていましたが、ということはもともと消防団も4つだったのですか。

神本団長 そうです。各市の徳山市消防団、新南陽市消防団、鹿野町消防団、熊毛町消防団でした。全部で4つの団が集まってできたので団員数が多く、今は定数が1,184名です。

緒方係長 条例定数は1,184名で、実員数は平成30年5月1日現在で1,018名です。

ダニエル ということは、実員数は定数の9割ぐらいですね。

神本団長 そうですね。今、消防団員の確保に苦勞しています。

ダニエル 1,018名の中に女性消防団員さんもいらっしゃるんですか。

緒方係長 女性が59名です。

ダニエル 59名が女性ですか。

緒方係長 はい。平均年齢は男性が45.5歳、女性が49.6歳です。



取材の様子

入団促進の取組

ダニエル 若い人への宣伝はやはり重要だと思いますが、具体的にどのような活動をなさっていますか。

神本団長 昨年力を入れたのは、学生に入ってもらおうということです。周南市に徳山大学と徳山工業高等専門学校があって、その生徒を対象に募集したところ11名の学生に入ってもらいました。それを少し弾みにして、団員になってもらおうという取り組みをしているところです。

ダニエル それはいいですね。

神足副団長 学生団員の中には消防職員を目指している子もいます。

神本団長 さらに第5方面隊では、戸田小学校で訓練のチームを作って、出初式のときに披露しました。



学生消防団員

ダニエル どのような経緯で小学生のチームが披露することになったのですか。

徳重方面隊長 去年の4月ぐらいに戸田小学校に少年消防クラブを作ろうと思い、消防団からも勧めたところ、校長先生も乗り気で、作ろうということになって、募集をしました。消防団がやっている消防操法大会を少し簡素化して子どもバージョンとして披露しました。もともとは出初式で披露するつもりはなかったのですが、当初、披露を予定していた地区の運動会が雨で中止になり、その後、地区の文化祭で披露しようと思ったら、その文化祭も雨で中止になってしまいました。今までずっと練習してきたのに披露する場がないのはかわいそうだと思います、出初式で披露しようという話になりました。だんだん話が大きくなり、結局出初式に向けて、夜に消防団員と婦人防火クラブがバックアップしてずっと練習しました。それで出初式でやっと披露することができました。



ダニエル 消防クラブが小学生のころにあったら、絶対に入っていましたね。本当に格好いいですよ。小さい子どもは男の子でも女の子でも同じだと思いますが、皆さんの訓練しているところや、操法大会など、そういうものを1回見ただけでもすごく興味を持つと思います。若いうちからプロモーションをするのはとてもいいことですね。

神足副団長 私も見ましたけれども、すごく立派でしたよ。よく訓練されていてすごく良かったです。

徳重方面隊長 実際に水も出したんですよ。

ダニエル それはぜひ見てみたかったです。最近そういうことを始めたのですか。

徳重方面隊長 戸田小学校の少年消防クラブは昨年発足しました。

ダニエル 去年からですか。では、これから継続できそうですか。

徳重方面隊長 継続するかどうかまでは考えていませんが、活動の一環として地元で披露ができればいいと思います。

ダニエル そうですよ。

災害対策について

ダニエル 周南市ならではの災害、この地域で一番心配なっている災害はどのようなものですか。

神本団長 やはり水害です。この地域は水害が一番心配ですね。震災というより水害、土砂災害などを心配しています。

徳重方面隊長 ついこの間も県道が土砂崩れで通行止めになりました。

神本団長 川の増水、氾濫、それから土砂災害などが多いです。周南市内でも小さいものがありますし、隣の防府市辺りは何年前に大変

な被害に遭って、市の境目ではその余波もありました。いつわれわれに襲ってくるか分からないということで、集中豪雨や土砂災害についてはすごく心配しています。

ダニエル 集中豪雨はいつどこで起きるかは読めないものですよ。

神本団長 読めないですね。

神足副団長 去年も九州北部豪雨がありましたが、あれはこの辺を前線が通っていたので、ここで起きてもおかしくない災害だったと思います。

ダニエル どこで起きてもおかしくありませんよね。例えばそこら辺で雨が少し降っていると思っていても、夜に急に酷くなったりすることもありますから。

神足副団長 そうですね。

河村方面隊長 私は第2方面隊長です。中国山地の一番奥で、山地の谷間の地域です。錦川という錦帯橋に流れる川の上流にはダム湖がありまして、その下流に民家が谷の中ずっとあるわけです。そこが私たち第2方面隊が担当している地域ですが、水害が一番怖いところです。海からの津波ということはまずありませんが、集中豪雨等で水害や土砂災害が発生した際には、孤立が起きるわけです。水害や土砂崩れなどで閉鎖されて、そうしたときに私たちがどうするかを考えて無線機を配布していただいています。それでも行き届かない所があります。それと、今は便利になって携帯の電波がどこでも入りますけれども、それも入らない所があるのです。

ダニエル 電波が届かない所があるわけですね。

河村方面隊長 そうです。

ダニエル 谷間はやはりそうですね。

河村方面隊長 そこで考えたのが、昔から使っ

ているCQ/CQというアマチュア無線です。消防団員で講習を受けまして、その無線機をみんなで購入しました。それで山間部ではこの無線も使おう、消防から頂いた無線も使おうと、いろいろな手で孤立になったときのことを考えて対策をしています。

ダニエル 僕も東北だからよく分かります。大震災の後に何回も行きまして、いろいろ物資を運んだりしていましたが、やはり電波が届かない所はたくさんありました。7年前ですから、最近はもっと力を入れて、山奥のほうに行っても、東北の海沿いは電波が届くようになっていっていますが、大きな災害が起きる前から対策をしておくのがいいと思いました。山の上の方で水害や地すべりがあって、全然連絡が取れなくなったら怖くて仕方がないでしょうね。

河村方面隊長 ええ。山間部ですから、民家の集落は全部谷間に沿っています。去年の水害のときも道路が寸断されて、孤立一歩手前までいきました。やはり水害は何年かに1回はあります。

ダニエル では、山間部や川の谷間は、やはり水害の心配が常にあるのですね。周南市には海に面している部分もありますよね。そちらはどうですか？

神本団長 沿岸部では、台風の直撃が過去何回もありました。

神足副団長 周南市は台風の通り道になることも結構あります。

ダニエル 何か天気図でよく見る気がします。

神足副団長 そうですね。

ダニエル 例えば山形は台風がほとんど来ません。東側や南側にすごく高い山があるので、台風がそれにぶつかって行ってなかなか入れないようです。本当に山に守られています。台風も

来ないし、山形の災害といえば大雪です。雪が積りすぎて家から出られなくなってしまうなど、そちらのほうは逆に消防団員さんたちが結構気を付けています。1人暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんなど、雪下ろしや雪かきが間に合わなくて、町内会などで声を掛けるというのもあります。やはり全然こちらのほうと違いますね。

秋山方面隊長 山形ほど雪は降りませんが、第3方面隊の鹿野地区は比較的雪が多い所で1メートル程度は積ります。去年から今年にかけて1メートル程度何度か積雪がありました。ここ(市街)が2センチぐらい降ったら、鹿野地区は15センチ、20センチ程度は積もる所なので、山口県内でも積雪が多いという印象です。

ダニエル 地域ごとに本当に皆さんが当たっている問題が違うような感じがします。

神足副団長 違いますね。

ダニエル 各方面隊でやはりこの地域の問題に向かって、いろいろ対策を取っているとは思いますが、一番困っていることや、うちのエリアに限ってこのような問題があるなどということはあるですか。先ほど電波が届かないということが一つありましたけれども。

神本団長 第4方面隊の担当地区は、離島があります。人間魚雷回天の基地跡がある大津島です。そこは常備消防がないので、消防団だけが頼りです。

ダニエル それは大変そうですね。

福谷方面隊長 第4方面隊はこの周り、少し山の奥のほうと、先ほど言いました回天基地のある馬島のほうのエリアも守るようになっていきます。しかし、団長が言われましたように島ですから、(常備消防が)火事で駆け付けるのは実際にはなかなか難しいので、消防団員の方は皆さん高齢ですが、自分の所は自分で守るというこ

とで頑張ってもらっています。

ダニエル 消防士はいないわけですね。

神本団長 消防士はいません。ですから消防団だけが頼りです。

神足副団長 しかし、その消防団員もやはり高齢化しています。

神本団長 島ですから、みんなお年寄りなのです。

ダニエル 分かります。

神足副団長 多分60歳でも若手扱いだっと思えます。

福谷方面隊長 島は高齢化で定年がもともとありませんでした。定年で退団したら団員がもう誰もいなくなってしまうから、定年をなくしてもらっています。

ダニエル でも、70代や80代で消火活動といたら、少しかわいそうですね。

神本団長 そうですね。

ダニエル 島の住人全体が高齢化しているわけですか。

神本団長 そうです。

ダニエル 男性の団員さんばかりですか。女性の方は？

神本団長 女性もいます。

神足副団長 それと、ここから向こう(島)に仕事に行く人がいます。その中に女性団員の方がおられます。こちらから行って、昼間は向こうで、万一のときには消防団員としての活動ができるということです。

ダニエル なるほど、出張制のような感じですか。そうすると、夜はどうなのでしょう。

神足副団長 夜はこちらに帰ってきます。

ダニエル 火事が一番よく出るのが夜ですね。

神足副団長 そうですね。

ダニエル これはやはり少し心配ですね。やはり若い人の入団を促進しなければならないですね。これもやはり深刻な問題です。

神本団長 そうです。

ダニエル 周南市は、山もあって、島もあって、市街地もあって、いい田舎もあります。しかし、それぞれの抱える問題が違うので、やはり対策もいろいろと考えなくてははいけませんね。

神本団長 そうですね。

女性団員の活躍

ダニエル 女性消防団員さんたちはどのような活動をなさっていますか。

神足副団長 実際に操法大会に出たりしています。

ダニエル 操法大会ですか。

神足副団長 そうです。

ダニエル この間の女性消防操法大会の開催地は秋田でしたか。僕も見に行ったんですよ。

神足副団長 はい、秋田でありました。

ダニエル 女性の消防団員さんたちは、全国で全くいない所もありますけれども、山口県はすべての市町村に女性団員がおられるそうですね。

神足副団長 はい。女性も操法を一緒にやっています。

ダニエル では、皆さんと一緒に訓練されているのですね。

神足副団長 そうです。女性の方も、ものすごくレベルが高いです。

ダニエル 地方で女性は力仕事をあまりさせない所もありますが、こちらはそうでもないのですか。

神本団長 もちろん住宅防火診断や、お年寄りの所に訪ねて行って、ここに危ないものは

置いてないでしょうかとか、カーテンの近くにストーブを置いてないでしょうか、住宅用火災警報器は付いていますかというのは、主に女性が訪ねて行って指導したりしています。

ダニエル やはり面識のない消防団員さんが家に訪ねてきたときには、女性だと警戒されないのでしょうか。

神本団長 そうです。

ダニエル そういう活動もなさっているのだけれども、操法もやってもらっているということですね。では、とても忙しいですね。男の方はあまり近所周りはしないのですか。

神本団長 女性と一緒にいってもらって、行き届かない部分があればフォローするという形です。そういうチームで訪問してもらっています。

ダニエル なるほど。女性も男性も大事な役割があるのですね。

消防本部との連携

宮本方面隊長 周南市で2市2町が合併したという話が先ほどありました。私の所は旧熊毛町という所です。徳山市、新南陽市の2つの市と、鹿野町、熊毛町の2つの町が一緒になって周南市になったのですが、私の担当地区は旧熊毛町です。周南市消防団ということでやっていますけれども、消防団事務については周南市消防本部で、自治会の有事、あるいは災害が発生したときには、熊毛地区を管轄する光地区消防組合消防本部が火災の出動で出て、私たちとともに活動します。

また、操法や消防資機材がうまく動くか、あるいは何か必要機材が足りているかなど、いろいろな行政的な指導は、こちらの周南市消防本部から頂いて、それぞれのいいところを吸収で

きています。

特に熊毛町は、島田川という大きな川があります。水害に備える意味でも、使ったことはありませんが、いざというときには救難ボートや、あるいは泥水を真水に変える浄水器、チェンソーなどがあります。また、自衛隊ほどの大きなテントではありませんが、20人程度収容でき、風速10メートルでも耐えるようなエアテントを備えています。



河村副団長 車もポンプも、本当は使われないうまいのでしょけれども、配備しています。光地区消防組合とも連携してやったり、訓練も指導を受けたりお互いがやっているの、そういうところは第1方面隊、旧熊毛町の特徴だと思います。

ダニエル なるほど、ありがとうございます。

消防団員の安全管理について

ダニエル 皆さんはKYT（危険予知訓練）はなさっていますか。団員さん自身の身の安全を守るためのものです。

徳重方面隊長 団ではやっていませんが、会社などではやっていますね。

ダニエル セミナーのような形で半日ぐらいで授業を受けたり、実際に危険からどうやって身を守るかという訓練を行う研修を消防基金が助成しているそうです。KYT以外にも、セー

フティー・ファーストエイドとか、いろいろな研修があります。

神本団長 周南市でも、班長、部長の幹部教育の中で、危険予知に取り組んでいます。

ダニエル なるほど、それを覚えた後で帰って皆さんに指導しているんですね。

神本団長 そうです。班長、部長という長ですから、初級幹部の皆さんにそれを指導してもらう形を取っています。

初級幹部というのは、2年に1回しか今のところやっていませんが、2年に1回を危険予知の講習で教育をやって、分団に帰ってもらって指導してもらっています。

ダニエル 僕も消防基金の研修を受けたことがあって、いい勉強になりました。消防団員の

安全管理の運動が全国に広まるといいですね。

対談を終えて

周南市は講演などで訪れたことがありますが、コンビナートだけでなく、豚の畜産やフグの水揚げでも有名だということを今回、初めて知りました。山あり海あり島ありの周南市消防団では、土砂災害や水害を経験されている山間部の方面隊と大きなコンビナートや離島を有する沿岸部の方面隊で、災害に対する対策や抱える問題も大きく異なるのが印象的でした。異なる地域性を持つ各方面隊同士、これからも力を合わせて周南市を守ってほしいですね。

周南市消防団の皆さんの益々のご活躍をお祈りいたします。 (ダニエル・カール)